

令和4年度第76回栃木県芸術祭美術展審査結果（日本画部門）

○応募総数	42点	[41点]	
○入賞点数	8点	[8点]	
○入選点数	33点	[33点]	* []内は昨年度

【審査寸評】

伝統的な日本画と言う概念と現代的な絵画の過渡期の時代にあり、日本画という言葉を使うことさえ難しい時代になりつつある中、今年度の日本画部門は見事に融合した作品が数多く出品された。

受賞された作品は力強く、また色彩も美しく、それぞれの作者の温かみを感じられるものばかりで好印象であった。

○芸術祭賞「燦」

力作の多々ある中で、今回山口昭氏の「燦」が芸術祭賞に選ばれた。

構成、色彩も斬新で絵の世界の新しい表現と思います。今後の活躍が期待できる作家。

○準芸術祭賞「日食」

凜とした静けさの中に力強い生命力を感じさせる作品です。長い年月風雨にさらされながら根を張り、枝を伸ばしてきた樹の姿に、作者が自身を重ねているように思いました。

○準芸術祭賞「蓮花」

蓮の生命力を表現していると思います。筆力が生かされ、素早い筆のタッチが魅力的で、色調のバランス、全体の調和が考えられた点が評価されました。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

やま ぐち あきら (宇都宮市) 「燦」
山 口 昭

○準芸術祭賞

うす い ゆき え (宇都宮市) 「日食」
薄 井 幸 江

さい とう あきら (那須塩原市) 「蓮花」
齋 藤 晶

○芸術祭奨励賞

かわ ぐち しげ こ (真岡市) 「はぐくむ」
川 口 茂 子

みず の すみ こ (那須塩原市) 「朝寒」
水 野 澄 子

いの せ ふじ えい (上三川町) 「妖精の森」へ」
猪 瀬 藤 衛

しお の と み こ (宇都宮市) 「花嫁になる日」
塩 野 登美子

かめ やま あき よ (真岡市) 「幻燈繪」
亀 山 明 代

○U25賞

該当なし

令和4年度第76回栃木県芸術祭美術展審査結果（書道部門）

○応募総数	297点	[315点]	
○入賞点数	13点	[13点]	
○入選点数	207点	[226点]	* [] 内は昨年度

【審査寸評】

書のジャンルを問わず各出品者は、このコロナ禍の中で黙々と書美を追求して、質の高い作品を出品してくれた。

書き慣れた題材や表現が多い中、新しい素材と表現に挑戦した作家が数名いたことは大変喜ばしく思う。また、入賞に漏れた中にも紙一重の佳作があった。

益々のご奨励ご健筆を祈念したい。

○芸術祭賞「翔」^{かける}（漢字少字数）

躍動する運筆が筆力を駆使して空間へ働きかけ、真に飛翔するが如きと思われる。

○準芸術祭賞「終」^{しゅう}（漢字仮名交り）

世界の情勢を嘆く作者の想いが凝縮された作品。

墨色と造形を巧みに組み合わせ、紙面の白さをも生かした傑書。

○準芸術祭賞「遙見」^{はるかにみる}（漢字）

全体に無駄のない空間処理がなされている。

とりわけ厚みのある重厚な線質と骨格のしっかりした文字の結構に安定感がみられる。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

五月女 章 子^{あき こ}（宇都宮市） 「翔」^{かける}

○準芸術祭賞

赤羽根 義 貴^{あかばね よし き}（宇都宮市） 「終」^{しゅう}
上 村 千 嶂^{かみ むら せん しょう}（足利市） 「遙見」^{はるかにみる}

○芸術祭奨励賞

石 崎 享^{いし ざき とおる}（芳賀町） 「遠」^{えん}
鈴 木 蓮 徑^{すず き れん けい}（下野市） 「韋応物詩」^{いおうぶつし}
小 林 庸 子^{こ ばやし よう こ}（栃木市） 「勤能補拙」^{きんのうほせつ}
亀和田 郁 芳^{かめわだ いく ほう}（宇都宮市） 「朱熹詩」^{しゆきし}
北 村 のぞみ^{きた むら のぞみ}（宇都宮市） 「事以密成」^{ことはみつをもってなる}
坂 本 典 子^{さか もと のり こ}（小山市） 「春と秋」^{はる あき}
柏 崎 麗 泉^{かしわ ざき れい せん}（下野市） 「岑参詩」^{しんじんし}
下 司 香 雪^{げ し こう せつ}（宇都宮市） 「暮投思思亭」^{くれてししいにとうず}
小 林 香 風^{こ ばやし こう ふう}（栃木市） 「高遜志・龍江紀事」^{こうそんし りゅうこうことをきす}
和 賀 幸 恵^{わ が ゆき え}（鹿沼市） 「夜坐」^{やざ}

○U25賞

該当なし

令和4年度第76回栃木県芸術祭美術展審査結果（写真部門）

○応募総数	305点	[330点]	
○入賞点数	13点	[13点]	
○入選点数	167点	[165点]	* [] 内は昨年度

【審査寸評】

305点もの応募作品は、さまざまな視点から生まれた力作ぞろいで、審査には時間がかかりました。受賞された作品はどれも、撮影時の感動や物語を個性的に表現され、強く引き込まれました。

○芸術祭賞「支配者」

まさに作品名のとおり、被写体の蜘蛛は、広大な宇宙空間を支配する者、無限を生きる孤高な存在のように見えた。

上部の暗い背景、モノトーンの美しい蜘蛛の糸の前ボケ、そこに浮かび上がる輝く蜘蛛の力強さと美しさ、緻密な絵作りに感銘を受けた。

○準芸術祭賞「雨上がりの散歩」

雨上がり、水たまりで遊んでお母さんに叱られてしまったのか、それでもまだ、遊び足りないような様子を、男の子の足先の動きが表現している。親子の会話も聞こえてきそうな一瞬を巧みに捉えている。画面奥に伸びてゆく道路と点在する水溜りは、画面に変化を与えている。

○準芸術祭賞「書房空間」

シンメトリーな構図、真ん中に配置された片方の顔が髪で隠れた女性の存在。“書房に漂う独特の空気感と奇妙さ”を表現しようとしたと作者が言うように、妙に落ち着かない、奇妙な気持ちにさせられる。作者の力だろう。横長の構図やセピアがかった色調、被写界深度の選択も作者の意図を強めている。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

お ばな ゆ き こ
尾 花 由 紀 子 （栃木市） 「支配者」

○準芸術祭賞

か く た ひ さ し
角 田 久 （宇都宮市） 「雨上がりの散歩」

こ む ら た か と し
小 村 敬 俊 （下野市） 「書房空間」

○芸術祭奨励賞

あ ん の う よ し お
安 納 芳 男 （宇都宮市） 「夢模様」

あ く つ え い こ
阿久津 榮 子 （宇都宮市） 「雨上がり」

ほ り い あ き ひ ろ
堀 井 昭 宏 （宇都宮市） 「そろり」

さくら	い	とし	お	(宇都宮市)	「冬晴れの日」
桜	井	俊	夫		
はなわ	ひろし			(宇都宮市)	「結婚します」
埴	寛				
よし	おか	ち	え	(壬生町)	「予感」
吉	岡	千	恵		
うね	やま	み	か	(宇都宮市)	「夏のきらきら」
畝	山	美	香		
い	な	みのる		(宇都宮市)	「夏の思い出」
伊	奈	実			
なか	やま	れい	じ	(小山市)	「研ぎ匠」
中	山	怜	児		
しば	やま	え	み	(下野市)	「幸福日記」
柴	山	絵	美子		

○U25賞
該当なし